

**【LINE マンガ】3/7（火）より、待たずに読める「¥0 パス」対象に 4 週連続で
人気作品が続々登場！あの人気作が無料チャージ 1 話と合わせて 1 日最大 13 話読める
第 1 弾は『部長と社畜の恋はもどかしい』『ケーキの切れない非行少年たち』など**

LINE Digital Frontier 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役：金信培（キム・シンベ）/高橋将峰）は、当社が運営する電子コミックサービス「LINE マンガ」<https://manga.line.me/>において、「¥0 パスの春」大特集として、待たずに読める「¥0 パス」機能の対象作品に人気作品を追加します。4 週連続となる「¥0 パスの春」第 1 弾を、本日 3 月 7 日（火）より開催中です。

¥0 パスの春 第 1 弾：<https://manga.line.me/lp/common/event/spring-of-0pass-1/index.html>



「¥0 パス」は、「LINE マンガ」アプリをご利用の方全員に 2 時間おきに対象作品が無料で読めるアイテムが配布される機能です。「毎日¥0（※）」作品の場合、1 作品につき 23 時間ごとに 1 話無料で読み進められる従来の機能に加え、「¥0 パス対象作品」では、アイテムをご利用いただくことで 1 日最大 13 話読み進めることができます。

このたび、「¥0 パス」対象作品に 4 週連続で人気作品が続々と登場する「¥0 パスの春」大特集を開催します。3 月 7 日（火）より開始した第 1 弾では、TV ドラマ化もされたムズキュンラブストーリー『部長と社畜の恋はもどかしい』（ぶんか社）や、累計 60 万部突破の新書をマンガ化した『ケーキの切れない非行少年たち』（新潮社）など、人気作品が対象となっています。

毎週火曜日、第 1 弾から第 4 弾まで、新たに追加された人気作品含め「¥0 パス」対象作品をピックアップしてご紹介します。この機会に、人気作品をお得にお楽しみください。

「LINE マンガ」は、マンガ市場のさらなる発展と活性化を目指し、引き続き様々な取り組みを強化していきます。

※「毎日¥0」とは、1 作品につき 23 時間ごとに 1 話読み進められる機能です。

■「¥0 パスの春」概要

第 1 弾から第 4 弾まで、毎週火曜日に多数の人気作品が「¥0 パス」対象として登場。

第 1 弾 URL：<https://manga.line.me/lp/common/event/2023-valentine/index.html>

【特集期間】

第 1 弾：3 月 7 日（火）12：00～3 月 13 日（月）23：59

LINE マンガ

第2弾：3月14日（火）10：00～3月20日（月）23：59

第3弾：3月21日（火）10：00～3月27日（月）23：59

第4弾：3月28日（火）10：00～4月3日（月）23：59

■「¥0 パス（ゼロパス）」について

「¥0 パス」機能は「LINE マンガ」アプリでのみご利用いただけます。



【使用方法】

- ① 「LINE マンガ」アプリを起動して「¥0 パス」ボタンを押す
- ② 「¥0 パス」対象作品ページを開き、対象話をタップして使用

対象作品は「¥0 パス」ボタンから確認できるほか、サムネイル画像に「¥0 パス」アイコンが表示されます。

【「¥0 パス」配布について】

「¥0 パス」は2時間ごとに1枚配布されます。対象作品は、1作品につき23時間ごとに1話読み進められる「毎日¥0」機能と合わせて1日で最大13話読み進めることができます。

「¥0 パス」は最大6枚まで保有していただくことができ、現在の保有枚数については、「¥0 パス」ページ下部のバーよりご確認ください。 「¥0 パス」を6枚保有している状態で2時間以上が経過した場合でも7枚目のパスを保有することはできません。

■LINE マンガについて



「LINE マンガ」は、スマートフォンやタブレットで気軽にマンガ作品が楽しめる電子コミックサービスです。グローバルでの月間利用者数8,900万、累計ダウンロード数2億超、ひと月の流通額が100億円を超える、同市場で圧倒的世界1位の規模を誇るプラットフォームサービスの連合体“WEBTOON Worldwide Service”の一員として日本市場で展開しています。

2013年に国内でサービスを開始し、現在では国内マンガアプリ累計ダウンロード数で1位を記録するなど成長を続けています。また、本サービスでは112万点以上を配信。その中でもLINE マンガでしか読めないオリジナル作品や独占配信作品、先行配信作品を1,100タイトル以上取り揃えており、幅広い支持を得ています。また、スマートデバイスでの閲覧に適した、上から下に読み進める縦スクロール形式でカラーのデジタルコミック“webtoon（ウェブトゥーン）”の作品にも力を入れています。

※国内マンガアプリ累計ダウンロード数（2013年4月～2022年12月）/ iOS & Google Play 合計 / 出典:data.ai（App Annieより名称変更）。